

## 第1号議案 2022年度事業報告及び決算報告

### 1. 2022年度事業実績報告

#### (1) 事業の概要・実績

2022年度も新型コロナウイルスの感染に悩まされた1年であった。大分エリアではクラスターが4件発生し、太陽の家全体で288人の感染者が発生した。しかしながら、重症者が出なかったのはワクチン接種の効果とも言える。10月以降より感染対策を継続する中で太陽ミュージアムの外部見学者の受け入れを開始したところ、下期のみで約5,000人を超える来訪があった。特に小学校の学習の一環としての見学は、多様性の考え方を進めるうえでも重要な役割を果たしている。

大分ビルの売却については、予定通りの10,500万円で売却し、入居者も全員上期中に退去することができた。別府の本館に隣接する駐車場は、計画外ではあったが希望価格の5,000万円で購入することができ、年度内には双方とも登記の変更が完了した。

就労支援では、昨年度に引き続き支援学校、私立高校からの継続的な実習の受け入れが奏功し、就労継続支援B型、就労移行支援希望者が増えている。作業面では、製造部品の不安定な供給の影響を受けた。生産状況には浮き沈みがあったものの、全般的にはプラス収支で終わることができたことは、協力企業及び職業指導員の調整力によるものと考えられる。また、(株)ADE様の親会社である(株)オートバックスセブン様からの新規作業の受注は、嬉しい出来事であった。2022年度は、別府15名、愛知6名、京都5名、障がい者就業・生活支援センターから49名、計75名が社会復帰した(A型移行も含む)。

介護支援では、今期の大きな事業計画でもあった「ゆたか」の本館移設が10月に完了し、機械浴を導入したことで、重度な利用者の受け入れが可能となった。全施設の介護職員の負荷軽減についてはICT機器の導入、また、ノーリフティング化を更に進め、業務の負担軽減及び効率が一段と向上した。職場環境改善を進めているものの年間を通して介護職、看護職の確保に追われており、継続的な大きな課題となっている。また、日出デイサービスについても利用者が大きく減少しているため、事業の継続について検討していきたい。

日本各地でウクライナ避難民の受け入れを行っているが、太陽の家も聴覚障がいのあるウクライナ避難民の受け入れを実現した。これは太陽の家が身元保証人となる日本でも初めての事例である。日本の障害者手帳を取得し、現在は太陽の家の従業員として作業場で働いている。また、昨年度に引き続き「地域との共生」を目的とした日本財団主催の「みらいの福祉施設建築プロジェクト」へ再挑戦した。太陽の家のさくら寮跡地にeスポーツカフェテリアとICT作業所が入る作業棟、その屋上と既存の作業場を繋ぐ螺旋状の巨大スロープを造り、津波時には地域の人々がそのスロープを使って避難できることをイメージしたが、残念ながら今回も採用には至らなかった。しかしながら、「地域との共生」の考え方は、これからも太陽の家の目指す一つの柱であることは変わらない。

## 2. 主要事業 ●印はコロナ禍で大きく影響された項目

### 【法人本部】

#### ○亀川地区地域住民との合同津波避難訓練実施

災害弱者の把握を進める中で、行政と相談支援センターが連携して進めていることが分かり、足並みを揃え活動することとした。合同避難訓練については近隣の施設と亀川小学校へ打診したが実施には至らなかった。今後は行政を巻き込んでの実施を図りたい。

#### ●オンライン見学開始

オンライン見学のシステム作成と案内を実施したが希望は2件のみであった。しかしながら下期より太陽ミュージアムのリアル見学を開始した結果、来場者は5,346人となり下期の目標をクリアすることができた。

#### ●太陽ミュージアム企画イベント年3回

コロナの影響もあり、当初計画していた3イベントは実施できなかったが、秩父宮記念スポーツ博物館と「TOKYO1964-2020 ユニフォームで見る東京大会」、上智大学名誉教授の師岡文男氏の講演会を開催した。8月に計画していたオムロン太陽とソニー・太陽による小学生向けの理科教室は、コロナ感染のクラスターにより実施できなかった。

#### ○e-ラーニング導入

6月より導入し、全職員を対象に6教材（1教材につき、15分×4回）を受講した。運用方法に課題はあるものの、内容的には理解しやすく好評であった。今後は法人全体の教育体系を整理し、階層別、専門別の教育体系を確立したい。

#### ○65歳までの雇用継続体制案検討

昨今の人材不足が叫ばれる中、65歳定年延長も検討したが、現行の運営状況から当面は現行の継続雇用が望ましいとの結論となった。ただし、再雇用者の処遇や昇給ルールについては継続検討となる。

#### ○施設整備積立金 6,500万円（内愛知京都3,200万円）

法人全体の施設整備積立金は9,710万円（内愛知京都4,911万円）となり、目標をクリアすることができた。昨年度は電気代の高騰（約2,800万円）、本館前駐車場（5,000万円）の購入等支出が膨らむ中、工事関係の時期調整を行った結果、当初予算に近い数値にすることができた。

### 【別府本部】

#### ○作業時間短縮ニーズへの対応（A型 B型）

##### A型 別府工場

精神に障害がある人の雇用が増えたこともあり、労働時間の配慮を年間で6名が実施した。（全従業員数30名）

##### A型 サンストア

13名全員が既に時間給契約であるため、労働時間の変更はなかった。

##### B型

利用者との定期面談で作業時間の希望を確認しているが、今年度については短縮の希望はなかった。今後は改善活動を進めることで、工賃維持を図りながら全体の作業時間の短縮も進めたい。

○倉庫管理業務受注（別府工場）

入出庫データ入力作業の導入を進め、ハード面の準備は完了したが、作業開始については次年度に持ち越しとなった。また、ソニー・太陽からの新規組立作業の計画もあり、作業エリアの確保は完了した。

○セミセルフレジ導入に伴う人材活用（サンストア）

セミセルフレジ導入に向け3月に型利用者1名を採用した。実際の導入は次年度10月からとなるが、レジ係従業員に対して業務内容や人員配置についての事前説明を年度内に実施した。

○新規作業導入（就労支援）

- ・国立図書館の書籍・資料のデジタル化事業の導入に向け研修等を受講したが、作業スペースや人員確保が困難であることや収支が合わないことから断念した。
- ・機材科の新規作業として、成型工場のピットより自動車部品の組立作業を1機種受託することができ、次年度より稼働することとなった。
- ・ICT推進科の新規作業として、(株)ADEよりオートボックスの店舗用のタブレットのキッティング作業と名刺印刷の作業をいただくことができた。スキャナー作業についてはスポット的なものはあったが、新規の受注はなかった。
- ・環境科はオムロン太陽より殺菌／消毒作業を受託した。

○A型・一般企業への就職6名以上（就労移行）

一般企業への就職が12名、A型3名であった。今期は2名のリワーク利用も受け入れ、2名とも復職することができた。リワークについては就労移行利用者と一緒に座学をすることで、就労移行利用者は働くことの大変さを、リワーク利用者は教えることで自分の存在意義を感じることで相乗効果が生まれている。

●身体に重い障がいのある人のニーズ調査、実習受け入れ（相談支援）

コロナの関係で身体に重い障がいのある人のニーズ調査はできなかったが、支援学校、関連企業のOB等の実習を11名受け入れ、4名が中途利用開始となった。

○A型定員充足（別府工場 サンストア）

別府工場：29名（定員40名）・・・充足率72.5%

サンストア：15名（定員20名）・・・充足率75%

○作業会計、施設会計の黒字化（A型 型、就労移行）

作業会計：A型別府工場・・・▲160万円

ソニー製品の倉庫管理については、安定した収支を維持している。下期後半のオムロン製品の大幅な受注減の影響が大きい。

A型サンストア・・・▲211万円

コロナによる減収対策としてチラシを電子公告に変更し約100万円の経費削減と、キッチンカーを入れるなどの工夫により前年比売上の99.9%を維持したものの、光熱水費が前年比25%高騰したことが大きく影響した。

B型トータル・・・452万円

電機科、機材科共に不良率低減や納期遵守率100%とQCD管理が順調であったことは大きい。今後も生産管理の徹底を行っていく。

施設会計：A型トータル・・・2,017万円

A型の報酬単価はスコアポイントで決まるため、今後も最高ポイントを維

持できるよう該当項目の状況把握をし続ける必要がある。

B型トータル・・・953万円

B型の報酬単価は月額工賃で決まるため、最高ランクが狙えるように改善活動や受注単価の見直しを継続する必要がある。

就労移行トータル・・・▲497万円

大分事業所がソレイユ大分県労働福祉会館へ移転し、移転費用等の経費が増加。就労移行事業の安定化のためにも大分事業所には期待したい。

### 【大分広域】

#### ○テレワーク就労事業者開拓（地域就労）

今期 1 名が在宅就労での採用試験を受験したが不採用であった。在宅でもコミュニケーション能力が必要ということで、今後の要件として組み込むこととする。

#### ●オール太陽職場対抗スポーツ大会実施（健康支援）

新型コロナの影響もあり、今年度も実施は見送ることとなった。

#### ○ゆたか移設による重度化・高齢化に備えた生活環境整備（ゆたか）

移行後に考えられる対策は、改修工事と共に完了したが、その後に上がってくる苦情については都度対応（対策）を実施した。

#### ○看取り体制整備（広寿苑）

嘱託医の支援もあり、職員への意識統一を図り、見取り委員会を立ち上げ5名の看取りを行った。利用者のご家族からも感謝の言葉をいただき、職員も達成感や充実を感じ始めている。

#### ●近隣で生活する OB/OG へのサポート検討（健康支援）

新型コロナの影響もあり、OB/OG、クラブ関係者からのヒアリングは十分に行えなかったが、現状の課題から次年度に繋がる提案をまとめることができた。

#### ○施設の見せる化 イメージプラス活動（ゆうわ 広寿苑）

新型コロナの影響もあり、地域への見せる化は進めることができなかった。ただし、大分県からノーリフティング先進施設指定を受けたことで、他施設から5名、溝部学園から3名の研修の受け入れを行った。

#### ○パラスポーツ支援方法について検討と提案（健康支援）

新型コロナの影響もあり、数名のOBからのヒアリングが実施できたのみで終わった。過去の資料の確認も含め、現職員からも広く意見収集を行い引き続き検討を進めていきたい。

#### ○働きやすい職場づくり（ゆうわ 広寿苑）

ゆうわ：職員の負担軽減のため、高機能マットレス3台、見守りロボット5台を導入。  
広寿苑：看護師の負担軽減のため、夜間オンコール代行を導入。

#### ○デイサービス事業新規利用者開拓（ゆうわ）

相談支援事業所の会合等でPR継続中。今年度の新規利用者0名、契約解除者3名。利用者の高齢化に伴い長期入院等が複数発生し、利用率が53.9%まで低下した。

#### ○収支改善（広寿苑）

今年度の新規契約27名、契約解除27名で、稼働率が多床89.4%、ユニット90.2%で両方とも目標をクリアすることができた。

○給食業者委託開始 円滑な移行（広寿苑）

調理員不足により直営から委託に変更。給食委託業者との定期会議、また都度業務調整を行い円滑に移行できた。

【愛知京都】

○オリジナル商品の製作、販売（京都 B型）

オリジナル商品として、自作の紙漉きしたコースターの販売を計画したが、商品開発の段階で何度もNGとなり、今期中の販売とはならなかった。デザインの検討から仕切り直しとなる。

○一般就労6名（愛知・京都 就労支援）

愛知：デンソー太陽5名、デンソーブラッサム1名の6名が一般就労となった。

京都：一般就労者は2名となった。

○重度な障がいのある人の受入れ（愛知 そら）

生活介護利用者の新規契約が7名、契約解除が1名で26名の契約者となった。近隣の支援学校6校に訪問し、「そら」の内容説明を行った。

○第三者評価受審（愛知 A型）

A型のスコアを維持するため第三者評価を受け、180点を維持することができた。

○定員充足（愛知・京都全サービス）

愛知：A型：13名（定員14名）・・・充足率92.9%

移行：3名（定員6名）・・・充足率50%

B型：37名（定員40名）・・・充足率92.5%

生活介護：10.3名（定員20名）・・・利用率51.5%（登録者26名）

全般的に定員を満たすことができなかったが、一般就労の加算が大きく収支面ではプラスとなっている。

京都：A型：32名（定員34名）・・・充足率94.1%

移行：4名（定員6名）・・・充足率66.7%

B型：64名（定員60名）・・・充足率106.7%

A型は就労移行との多機能のため、合わせて40名を目指している。B型は定員を上回る64名が登録されているが125%未満であり問題なし。

○施設整備積立金（愛知2,000万円 京都1,200万円）

愛知：2,110万円

電気代の高騰もあったが、A型・移行の定員充足や報酬単価増に加え、職員の退職による人件費減により目標金額を確保できた。

京都：2,801万円

電気代の高騰もあったが、移行やB型の定員充足や職員採用未達及び修繕費や改修工事減により目標金額を維持できた。

3. 2022年度主要施設整備		(千円)
《別府》	ゆたか移設	160,222
	さくら寮解体及び通路整備	2023年度に完了
	第1作業棟キュービクル更新	2023年度に延期
	第1作業棟2階ファンコイル更新	7,535
	第3作業棟外壁防水工事	2024年度に延期
	ハイエース更新	2023年度に実施 (補助金決定)
《日出》	受水槽ポンプ更新	1,430
	駐車場ロータリー周辺アスファルト補修	3,740
	介護職員用インカム設備一式	2023年度に延期
《杵築》	介護ロボット aams. 購入	2023年度に延期 (補助金申請中)
《愛知》	管理棟1階エアコン更新	2,387
	管理棟1階床面修繕	1,419
《京都》	宿舎棟西2階4階トイレ改修	5,720
	宿舎棟2～4階トイレ自動ドア化	1,430
	管理棟応接室自動ドア化	1,205